

こうのもりひろ <sup>はか</sup> 河野守弘の墓 真岡市大道泉



(撮影 上野訓宏)

こうのもりひろ  
河野守弘は江戸時代の1793年6  
月16日に芳賀郡大道泉<sup>だいどういずみ</sup>で生まれまし  
た。名は石崎通弘<sup>いしざきみちひろ</sup>、通称は伊右衛門<sup>つうしょう いえもん</sup>と  
いいました。先祖が伊予<sup>せんぞ いよ</sup>(現在の愛媛県<sup>えひめけん</sup>)  
の河野氏<sup>しゅっしん</sup>の出身であることから、後に<sup>のち</sup>  
河野守弘と名乗りました。

江戸に出て学問<sup>おさ</sup>を修めてから、ふるさと  
に戻り<sup>もと</sup>22年の歳月<sup>さいげつ</sup>を費やして下野国内<sup>ついで しもつけこくない</sup>  
(現在の栃木県内)<sup>ちようさ</sup>を調査し、『下野国誌』<sup>しもつけこくし</sup>  
全12巻をつくりました。



(撮影 上野訓宏)